

## ①健康・生活

- ・定期的な心身の把握（毎回体温測定・気分把握）
- ・生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所）
- ・構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援  
（視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をするか」を絵などを使い具体的に表示）
- ・SST、ABA などによる身体的、精神的、社会的訓練

## ②運動・感覚

- ・ストレッチ、ラジオ体操、軽い運動
- ・バランスボールでの姿勢保持
- ・音楽に合わせて体を動かす遊びや運動
- ・感覚過敏用のイヤーマフ配備など環境設定

## ③認知・行動

- ・天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成
- ・1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成
- ・粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形成
- ・ブロック遊びによる空間把握の認知形成
- ・小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮
- ・感覚、認知の偏りに対するリフレーミング
- ・季節の変化への興味などの感性形成のための外出・行動

## ④言語・コミュニケーション

- ・はじまりの会で今日の気分・気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容
- ・終わりの会で活動振り返りと気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容
- ・個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き
- ・ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化

## ⑤人間関係・社会性

- ・アタッチメント形成（面談で自尊心を高める・認める）
- ・見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ
- ・一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ
- ・役割分担のある遊びなどの協同遊び
- ・ルールの理解が必要な遊びや集団活動
- ・イベントなどを通じた地域との交流